

第2学年 技術・家庭科（技術分野）

1 年間指導計画

学期	月	領域・単元	内容	教科書・教材等
前期	4	生物育成の技術の原理・法則の仕組み	・植物、動物、水産生物を育てる技術 ・生物育成の技術の工夫を読み取る	教科書 新しい技術・家庭（技術分野） 《東京書籍》
	5	生物育成の技術による問題解決	・スプラウトの栽培	
	6	社会の発展と生物育成の技術	・材料と加工の技術の最適化	
中期	6	エネルギー変換の技術の原理・法則の仕組み	・エネルギー変換の技術と利用 ・電気回路について考えよう	副教材 技術分野 学習ノート 《東京書籍》
	7 10	エネルギー変換の技術による問題解決	・問題を発見し課題を設定 ・電気回路を設計、製作	
後期	11	エネルギー変換の技術の原理・法則の仕組み	・問題解決の評価、改善、修正 ・電気機器を安全に使用する技術 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・エネルギー変換の技術の工夫を読み取る	実習教材 ダ' 付印作スラジ' オ 《久富電機》
	2			
	3	社会の発展とエネルギー変換の技術	・エネルギー変換の技術の最適化	

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート、確認テスト	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート	授業観察（課題に対して改善・工夫し実践しようとしている態度） ワークシート、発言・発表
評価規準例	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術とエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則を理解している。 ・基礎的な技術の仕組み及び生物育成の技術とエネルギー変換の技術の生活や社会、環境と関わりについて理解している。 ・実習の状況に応じた、安全・適切な作業ができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し解決策を構想して、実践を評価・改善し、表現するなどを考えている。 ・エネルギー変換の技術と社会の発展に目を向けて、その評価、選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生物育成の技術やエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。 ・学習で取り組んだ内容をSDGsと関連付けて、新たな考え、捉え方を創造しようとしている。
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語の意味を理解して、授業の中で意識して専門用語を活用する。 ・各時間の授業での活動をワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決する課題に最初から難しいと捉えるのではなく、多面的な見方をしていく。 ・学習したことを実生活の中で確認していく態度が、問題解決の力となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して粘り強く取り組み、自らの学習の調整しながら技術を工夫し創造する。 ・SDGsに関心をもって、学習した内容をつなげていく。

3 アドバイス

- (1) 授業では、生活にある物や社会を支えている技術を科学的な見方、考え方を働かせて学習します。学習したことが自分の生活の周りにあることとの共通点を考えたりすることができるようにしましょう。
- (2) 授業でも学習内容とSDGsと関連付けてやっています。これからの皆さんの価値観の形成に必要となってくるのがSDGsです。今、自分ができるところを実践して自分を育てていくことです。